

1 日複数回 ICD が適切作動した Brugada 症候群例の検討

阿部芳久 寺田 健 宗久雅人 熊谷 肇
佐藤匡也 門脇 謙

植込み型除細動器 (implantable cardioverter-defibrillator : ICD) 植込み例での electrical storm の発生は臨床上重要な問題である。Brugada 症候群において発生する electrical storm に対しても、その病態解明と治療方法の確立が急務である。そこで今回、ICD 治療を行った Brugada 症候群例で、1 日 2 回以上 ICD が適切作動した症例の臨床事項について検討した。対象は、当センターで経過を観察している ICD 植込み後の Brugada 症候群 30 例 (男性 26 例、女性 4 例、平均年齢 50 歳) で、一次予防例は 18 例、二次予防例は 12 例、平均観察期間は 56 ヶ月であった。30 例中 5 例 (17% : 全例男性、一次予防 1 例、二次予防 4 例) で ICD が適切に作動し、5 例中 4 例 (80%) で 1 日 2 回以上の作動がみられた。1 例目は冠攣縮性狭心症を有する 66 歳の 2 次予防例で、夜間に 2 回作動した。Ca 拮抗薬をベンゾチアゼピン系からジヒドロピリジン系へ変更したところ、2 年間に 4 回みられた作動が 5 年間に 1 回へと減少した。2 例目は 59 歳の 1 次予防例で、夜間と夕方方に作動した。数日前からの激しい下痢が誘因と考えられ、低 K の補正により作動はなくなった。3 例目は高 K による T 波増高をオーバーセンシングした既往をもつ 54 歳の 2 次予防例で、大量飲酒を契機とした劇症膵炎時に 1 日 6 回の作動をみた。心肺の状態や電解質バランスなどには変化なく、膵炎の治療のみで作動はみられなくなった。4 例目は冠攣縮を有する 53 歳の 2 次予防例で、夜間に 2 回作動し、そのうち 1 回は 36J 出力の 3 回目作動で停止した。特に誘因を認めていない。Brugada 症候群において ICD が作動する場合、1 日複数回作動することが多いため、内服薬や血清 K 値、心血管系以外の疾患など、心室細動発生にかかわる要因について検討する必要がある。

Keywords

- Brugada 症候群
- electrical storm
- ICD 適切作動

秋田県成人病医療センター循環器科
(〒 010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町 6-17)

Clinical investigation of Brugada syndrome with plural ICD shocks in a single day
Yoshihisa Abe, Ken Terata, Masato Munehisa, Hajime Kumagai, Tadayo Sato, Ken Kadowaki